




バリアフリー工事等の内容(バリアフリー工事)



- ◆浴室・トイレ改修
- ◎床段差解消
5mm以内
- ◎入り口スライドドアへの改修
- ◎手摺設置
- ◎和式から洋式トイレへの改修



- ◆玄関スロープ改修
- ◎スロープの設置



※段差解消が証明できる計測写真(工事前・完成写真)添付して下さい。

◎着手前、施工中、完成写真を必ず撮ってください。(重要)

(1)バリアフリー(段差解消等)



工事前 トイレ段差写真



段差11cm



トイレ 段差解消

段差解消5mm以内



脱衣室 段差解消 (アルミ製スロープ設置)

バリアフリー工事等の内容(省エネ工事)

◎塗装工事において遮熱、及び断熱性能のある材料を使用して工事を行う場合、省エネ工事となります。

遮熱、断熱塗料使用塗装工事








(2)屋上防水工事



①着手前



②高圧洗浄



③プライマー塗布



④防水層施工



⑤中塗り1回目



⑥中塗り2回目



⑦上塗り1回目



⑧完成



使用前



使用后

◎ひび割れ工事、剥離改修工事も【バリアフリー工事等】となります。

ひび割れ部分改修工事費(クラックスケールを当てたものに限る)
または、庇、天井裏、柱等の浮き・剥離、爆裂補修工事費



◎着手前、施工中、完成写真を必ず撮ってください。(重要)

- ・ひびの度合い、剥離の状況写真 (着手前)
- ・改修・塗装作業の状況写真 (施工中)
- ・完成写真 (完成)



①ひび割れ0.5mm以上 ②Vカット処理 ③シーリング充填 ④フィラー仕上げ



①工事前
コンクリート浮き、落下の危険性がある。
②剥離改修 ③錆止め塗布作業 ④埋め戻し状況

外壁のひび割れ施工にあたり、クラックスケールにより計測した着手前写真が必要です。
ひび割れ幅0.5mm以上(屋外) ※1.0mm以上(屋内)

外構工事について **※外構工事のみは対象になりません!**
例 門扉、土間コンクリート工事など、敷地内建物以外工事のこと

外構工事は拡充策として引き続き今年度も対象となりますが、バリアフリー工事等とその他工事の合計額を超えない額が対象です。

例1 リフォーム工事費 > 外構工事費

50万円 ≥ 50万円

リフォーム工事	外構工事
---------	------

例2 総工事金額80万円

リフォーム工事 30万円 > 外構工事 50万円

リフォーム工事	外構工事
---------	------

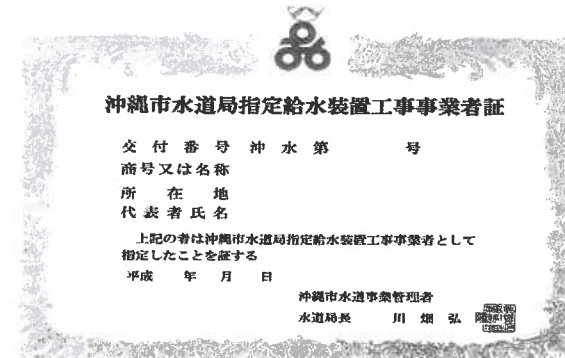
補助対象金額が、リフォーム工事30万円が外構工事対象金額になる。
リフォーム工事30万円対象 = 外構工事50万円 (-20万円)
差額分の20万円は対象外!!

リフォーム工事	外構工事	対象外
---------	------	-----

リフォーム工事 30万円 ≥ 外構工事 30万円 = 60万円が対象工事
※20万円は対象外工事

※注意 給水設備工事を含むリフォーム工事について

給水設備工事を含むリフォーム工事については工事の内容により指定給水装置工事事業者による施工が要件となる場合があります。その場合、施工する業者の指定給水装置工事事業者証を添付して下さい。



資料見本